



参加企業募集!!!

沖縄の魅力を知る2泊3日の“企業進出・事業連携促進プログラム”

注目の沖縄資源やバイオ分野の研究を活用したい企業など
(医療・創業・健康・食品・化粧品・環境・エネルギー等)の皆様へ

※旅費、宿泊費等は内閣府が負担します。
(詳細は裏面参照)

point 1 手厚い補助金、税制

新産業事業化促進事業 (補助金)

独創的な研究シーズを活用した新製品の開発等を目指す企業の毎年研究開発に要する経費の一部を補助します。最大3,000万(最長2か年度)、補助率最大3/4。※毎年4~7社程度(前身の新産業研究開発支援事業含む)が採択されています。

産学官連携製品開発支援事業 (補助金)

産学官連携や産産連携で実施する沖縄県の特性を活用した高付加価値で競争力のある製品開発に対し、その経費の一部を補助します。初年度3,500万円以内(最長2か年度)、補助率最大3/4。

地域産業資源活用事業 (国内・海外販路開拓強化支援事業費補助金)

沖縄の地域の優れた資源を活用した新商品等の開発や販路開拓に取り組む中小企業者に対し、市場調査、研究・新商品開発、展示会等への出展等に係る経費の一部を補助します。最大500万円、補助率最大1/2。4者以上の共同申請案件の場合、最大2,000万円、補助率最大2/3。

沖縄国際物流拠点等活用推進事業 (補助金)

本事業では、沖縄の国際物流拠点等(那覇空港・港、中城湾港新港地区等)を活用して製品を県外へ搬出する、先進的かつ沖縄の特色を生かしたものづくり事業等を総合的に支援します。最大2億円、補助率最大2/3。

産業高度化・事業革新促進地域 (税制優遇措置)

沖縄県知事が策定する「産業高度化・事業革新促進計画」にて指定された地域に立地した企業は、計画認定を受けた場合、投資税額控除等の税制上の優遇措置を受けることができます。

※令和元年度時点

point 2 極めて低廉・充実した入居施設

■ 沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センター、沖縄バイオ産業振興センター

企業等が研究機器などを活用し健康バイオ関連の研究を行う、高度な化学分析機等を備えたインキュベート施設

入居企業の例 ・株式会社EM研究機構：有用微生物由来の新規機能性成分の同定、機能解析等の研究及び製品の開発

■ 沖縄ライフサイエンス研究センター

沖縄の地域特性や生物資源を活かした医薬品、機能性食品等の高度な研究開発を実施

入居企業の例 ・オービーバイオファクトリー株式会社：海洋生物資源を活用した、創業・食品・化粧品等の各分野におけるシード探索
・株式会社AVSS：抗ウイルス剤の探索、感染症診断薬の開発、ウイルス安全性試験の受託事業

■ 沖縄科学技術大学院大学 (OIST)

世界最高水準の教育研究を行うOISTで、国内外から集まった起業家が既存の企業等と協業

入居企業の例 ・沖縄プロテントモグラフィー株式会社：
クライオ電顕を用いた生体高分子構造解析の受託事業を展開、OIST発ベンチャー第1号



point 3 他県にはない特性

■ 年間を通じて温暖な亜熱帯気候特有の地域資源

・オキナワモズク・・・抽出成分：抗凝結作用等の機能

・シークワーサー・・・抽出成分：血糖値・血圧抑制等の機能

その他独自の陸上植物(長命草、月桃など)、海洋生物・微生物、微細藻類、海洋深層水 など

※「東洋のガラパゴス」とも呼ばれ、固有種が多数存在(詳細は裏面「沖縄県内研究機関シーズアクセスリスト」参照)

※花粉症がほとんどなく、高い労働生産性が期待できる

■ 成長著しいアジアの玄関口に位置する国際物流拠点

・4時間圏内に人口20億人の巨大マーケット

・24時間高速物流ハブ(深夜出発・翌朝到着) ※2020年3月 那覇空港第2滑走路供用開始!



事業化事例

株式会社サウスプロダクト

世界初オキナワモズクフコイダンの工業的生産技術開発、事業化に成功。トクホ取得を目指してヒト試験を実施。フコイダンは大手食品メーカーに採用。ハラールを取得して海外へ展開。この夏、新工場へ移転。

事業化事例

株式会社沖縄リサーチセンター × 琉球ポーテ株式会社

亜熱帯自生植物由来の天然化合物から生活習慣病の予防・改善可能な機能性素材及び医薬品の研究・開発。シークワーサー皮から抽出した高純度ノビレチン(認知機能の維持、排尿障害改善効果)で注目される。

事業化事例

オービーバイオファクトリー株式会社

海洋生物資源を活用した、創業・食品・化粧品等の各分野におけるシード探索。フコキサンチン、EPAを高生産する新規健康食品原料 Pavlova(パヴロバ)の開発で注目される。

事業化事例

株式会社カタリスト琉球

沖縄産機能性表示食品対応商品及び原料の開発・製造・販売を行う。琉球大学との共同研究を経て、沖縄バイオ産業振興センターへ入居後、事業を拡大。

事業化事例

株式会社シルクルネッサンス

カイコ無細胞合成系を用いたタンパク質受託合成サービス・細胞増殖促進効果を有する高分子シリシを用いた再生医療支援事業を展開。

事業化事例

株式会社アプクルスバイオファクトリー

エンドキシンプリーラスミド製造、遺伝子組換え抗体・タンパク質の製造、細胞株樹立など各種実験をトータルサポート。

連携事例

- ・沖縄から原料を供給→商品化・製造販売
- ・沖縄の地域資源を使った研究開発→商品化・製造販売
- ・在沖企業と共同で商品開発・製造販売

豊富な研究シーズ・人材

- ・世界最高水準の教育・研究機関：沖縄科学技術大学院大学 (OIST)
- ・琉球大学、沖縄工業高等専門学校 (沖縄高専)

参考：沖縄県内研究機関シーズアクセスリスト
(OIST、琉球大学、沖縄高専、沖縄県等のシーズ掲載)

<https://www.oki-innovation.jp/seeds-access-list>



© OIST/ギンター



© OIST/東郷憲志

※ 参考：化粧品・健康食品等のバリューチェーン



開催概要

- ・催事名：「沖縄力発見創造事業」企業進出・事業連携促進プログラム バイオ編
- ・実施日程：2020年2月19日(水)～21日(金)
- ・参加対象：沖縄資源やバイオ分野の研究を活用したい企業など(医療・創業・健康・食品・化粧品・環境・エネルギー等)
- ・募集人数：20名(20社)程度 ※応募多数の場合は選考あり
- ・参加費用：本土～沖縄間の航空券、宿泊、現地の移動に要する費用は全額内閣府負担
- ・ツアー内容：研究機関等の視察、在沖企業との情報交換・セッション、公的機関への個別相談ほか
- ・申込方法：別紙「申込用紙」に必要事項を記入の上、下記問い合わせ先にメールかFAXでお送りください。
- ・申込締切：2020年2月3日(月)

問い合わせ先

(株)日本旅行 公務法人営業部 「沖縄力発見創造事業」事務局 遠藤・加藤
TEL：03-5402-6441 FAX：03-3437-3955 Mail：discovery_okinawa@nta.co.jp

行程

- ※1日目は、全体の対沖縄投資セミナーやキックオフセッションを予定しています。
- ※2～3日目は、**関心・ニーズ等に応じたいくつかのグループに分けたプログラム実施**を予定。

1日目
オリエンテーション
対沖縄投資セミナー：内閣府、沖縄県担当者から沖縄の投資環境の概説
キックオフセッション：在沖企業により現状・課題の説明、参加企業による構想の提示
交流会

2日目
主要機関見学：
沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センター、沖縄バイオ産業振興センター
沖縄ライフサイエンス研究センター、琉球大学、グループ別見学

3日目
ラップアップセッション
沖縄科学技術大学院大学 (OIST) 見学

※行程は予告なく変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

- ※参加者は、沖縄進出の可否を検討できる立場の方をお願いいたします。(原則各企業1名様)
- ※過去に本プログラムへの参加実績のある企業、既に沖縄に進出済みの企業の応募はご遠慮願います。
- ※コンサルティングや商品等の宣伝を目的とした参加は対象外とさせていただきます。
- ※応募企業が多数の場合は、関心度合い等を踏まえ、事務局にて選考させていただきます。
- ※本プログラムを有意義なものとするため、申込用紙の記載内容は、事業参加者の皆様へ事前に開示させていただきます。
(「事業参加者」とは、本プログラムに参加される本土企業、在沖企業、研究機関、公的機関、ほか現地視察先等となります。)

「沖縄力発見創造事業」企業進出・事業連携促進プログラム《バイオ編》 申込用紙

組織・参加者概要

ふりがな

貴社名： _____ 部署名： _____
従業員数： _____ 資本金： _____
事業内容：（医療・創薬・健康・食品・化粧品・環境・エネルギー・その他（ _____ ））
事業内容詳細： _____

ふりがな

御参加者名： _____ 年齢：（ _____ 才） 性別：（男・女）
役職名： _____ 携帯番号：（ _____ ） 発着空港： _____

[連絡先窓口]

御担当者名： _____ 役職名： _____
御住所：（〒 _____ - _____ ）
TEL：（ _____ ） FAX：（ _____ ） メール： _____

沖縄県への進出・事業連携意向

※該当する選択肢に○をお付けください。ご回答についてはお答えいただける範囲で結構です。

ツアー構成の参考にさせていただきます。ご希望に添えない場合もございますことをあらかじめご了承ください。

Q1. 沖縄県への進出・事業連携に関して、検討状況をお聞かせください。

- (1) 現在、進出を検討中 (2) 現在、事業連携を検討中 (3) 将来の進出・事業連携に向けて企画・検討中
(4) 今後、進出・事業連携を検討する可能性がある (5) 進出・事業連携に関心がある

Q2. 沖縄県への進出・事業連携に関して、希望時期をお聞かせください。

- (1) ~1年 (2) 1~3年 (3) 3~5年 (4) 5年~ (5) 未定

Q3. 沖縄県への進出・事業連携の形態に関して、想定されているものをお聞かせください。

- (1) 拠点（支店、研究センター等）設立 (2) 現地企業との提携 (3) 学術・研究機関との連携
(4) その他（ _____ ）

Q4. 既に事業を検討している場合、その内容について、可能な範囲で概要をお聞かせください。

Q5. 今回説明を受けたい主な内容をお聞かせください。※可能であれば、()内の選択肢にも○をお付けください。

- (1) 研究シーズ（ライフサイエンス、農林水産、ナノテク・材料、環境・エネルギー、ものづくり技術、その他（ _____ ））
(2) 沖縄特有の資源（陸上植物、海洋生物、微生物、微細藻類、海洋深層水、その他（ _____ ））
(3) 研究・開発向け入居施設 (4) その他（ _____ ）

Q6. Q5でご回答頂いた内容について、詳細なご関心があれば、自由記述でお聞かせください。

※詳しく説明を受けたい研究シーズ、資源、研究・開発向け入居施設、視察したい企業・施設、支援制度など
※必要に応じてチラシもご参照ください。

Q7. 本ツアーに対するその他の要望・関心事項があれば、お聞かせください。

（例：沖縄の特区制度と補助金制度について、〇〇大学との〇〇の共同研究の可能性について 等）

※応募企業多数の場合は、本プログラムに対する関心度合等を踏まえ、選考させていただきます。